

# 蓼川の史跡さんぽ

## ① くまのしや 熊野社



上土棚の鎮守で、熊野三神が祀られています。本殿・拝殿・棟札と絵馬は市指定文化財です。境内には、上土棚村領主とおやまかげゆき遠山景之が寄進した石灯籠、市内で最も古い天明2

(1782)年造立の出羽三山供養塔があります。また、明治時代の綾瀬は養蚕・製糸が盛んであり、大正11(1922)年造立の蚕を守る神様の祠などがあります。

## ② れんこうじ 蓮光寺



浄土宗のお寺で、本尊は阿弥陀如来です。文禄3(1594)年に、上土棚村を治めていた遠山安則により創建されました。領主の菩提寺であることから「殿様寺」とも呼ばれて

います。遠山氏累代の墓碑群と地藏堂内に保存されている旧本堂の内陣欄間の彫刻は市指定文化財です。

## ③ まるやまだいじんぐう 丸山大神宮



祭神は恵比須大明神です。昭和9(1934)年に、丸山(現在のやぶね公園内)から移され地域の神様として祀られています。境内には、青面金剛像が彫られた享保17

(1732)年造立の庚申塔や出羽三山供養塔などがあり、庚申講や出羽三山参りが行われていたことがわかります。

## ④ かみつちだみなみいせき 上土棚南遺跡 (南部ふれあい会館)



南部ふれあい会館や綾南保育園の建設に伴い調査が行われた遺跡です。約2万年前の旧石器時代の石器や、上土棚遺跡とつながる市内で最も規模の大きな縄文時代後期(約

3500年前)のムラの跡が発見されました。日常的に使用された土器や石器以外に、土偶・石棒などの祭祀関連の遺物(市指定)が出土し、その一部は南部ふれあい会館で展示しています。

## ⑤ かみつちだないせき 上土棚遺跡 (松山公園)



上土棚遺跡は旧石器時代から縄文時代にわたる遺跡です。槍先として使われたナイフ形石器の中には西南日本出土のものと同じ特徴をもつものがあり、注目されます。現在、

遺跡の一部は松山公園になっています。

## ⑥ ちそうざか 地藏坂



坂の途中には、坂の由来となった寛政3(1791)年4月に造立された地藏尊があります。台座には「念仏

供養」「上土棚邑」の銘文があり、かつて、念仏講がつくられ、地藏尊を祀ったのではないかと考えられます。

## ⑦ おとこざか 男坂



稲著社の東側にある上土棚と落合の境の険しい坂で、古くは長坂とも呼ばれていました。この坂を通る道が、大山道であるとか鎌倉道であるという伝承があります。

## ⑧ いなつきしや 稲著社

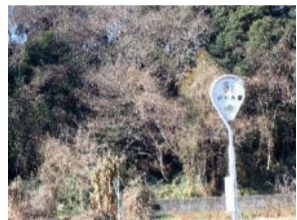


祭神は倉稲魂命・猿田彦命・大宮売命で、寛文2

(1662)年の棟札から、この時に再建されたと考えられます。

神楽殿は江戸時代末に建てられたもので、市内で最も古いものです。

## ⑨ どういせき びわみ堂遺跡



板碑という中世の供養塔が出土しました。当時の暮らしを考えるための貴重な資料で、市指定文化財です。

また、日蓮上人が、佐渡流罪の途中、この地にあったお堂で休息した時にピワを眺めたので、びわみ堂と名付けられたという伝承があります。

## ⑩ ひょうたんころ びょうたん転がし (取内橋西の坂)



昭和27(1952)年の綾瀬町地図にも記され、よく知られていました。侍が酒の入ったひょうたんを転がしてしまった坂とか、斬首された侍の首が転がった坂などとも伝えられています。

## ⑪ みたけじんじや 御獄神社



明治時代に開かれた芝原の集落の鎮守として、明治27

(1894)年、吉岡堀の内から移したと言われています。

大己貴命ら六柱の神が祀られています。

昭和21(1946)年に建てられた本殿は綾瀬小学校にあった奉安殿(天皇・皇后の御写真を安置する建物)の屋根を移築・修復したものであると伝えられています。

## ⑫ なかはらいどう 中原街道 (丸子中山茅ヶ崎線)



江戸から今の平塚市にあった中原御殿(徳川家康が鷹狩りなどの折に宿泊所とした屋敷)へ通じる道だったのでこの名がつけました。江戸時代に出来た新しい道なので新道といっ

ています。

## ⑬ だいほうじ 大法寺



日蓮宗のお寺で、本尊は日蓮上人図頭の大曼

荼羅です。日蓮上人が佐渡流罪の時、この地に

立ち寄ったという縁により、日蓮上人が応永

2(1395)年、開山しました。木造日觀上人像は、胎内文書から、天明4(1784)

年の作とされます。また、境内にある淡島明神堂(写真)は、落合にあった

びわみ堂を移したと伝えられています。

①～⑬の説明文：あやせの文化財マップ あやせウォークガイド  
綾瀬市教育委員会 より転写

①～⑬の写真：湘南ふじさわウォーキング協会 藤井